

## USB ドライバのインストール方法 (MacOS X v10.6.x をお使いの場合)

2009 年 10 月 16 日  
日本無線株式会社

MacOS X v10.6 以降をお使いの場合は、本ドライバをインストールする必要はございません。以下の手順で設定を行えば、WX310J(以下、本電話機)をモデムとして動かすための準備ができます。

尚、本ドライバのインストールを行う場合は、6 ページの「USB ドライバのインストール」に進んでください。  
本手順書では、MacOS X v10.6 を例に説明しております。

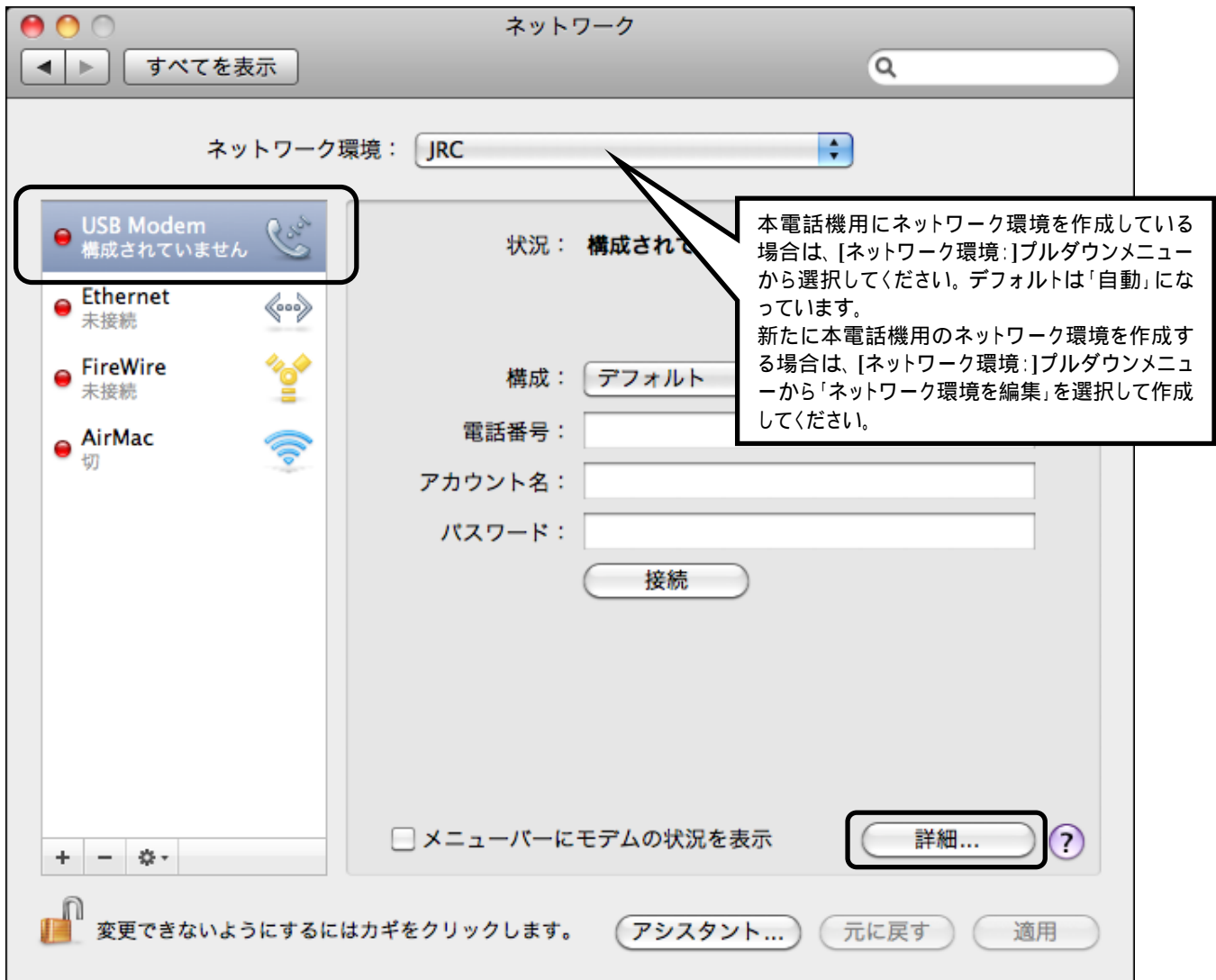
1. 本電話機とパソコンを USB 接続します。
2. 画面左上のアップルメニューから「システム環境設定」を選択します。



3. 「ネットワーク」をクリックします。



4. ネットワーク接続サービスのリストから「USB Modem」を選択し、「詳細」をクリックします。



5. 「モデム」タブをクリックし、[製造元:]プルダウンメニューから、「WILLCOM」、[機種:]プルダウンメニューから、「WX3xxJ (USB)」を選択し、「OK」をクリックします。尚、DNS、WINS、プロキシ、PPP の設定につきましては、ご利用になっているインターネットサービスプロバイダ(ISP)にお問い合わせください。

USB Modem

モデム DNS WINS プロキシ PPP

製造元: WILLCOM

機種: WX3xxJ (USB)

モデム内蔵のエラー訂正と圧縮を使用

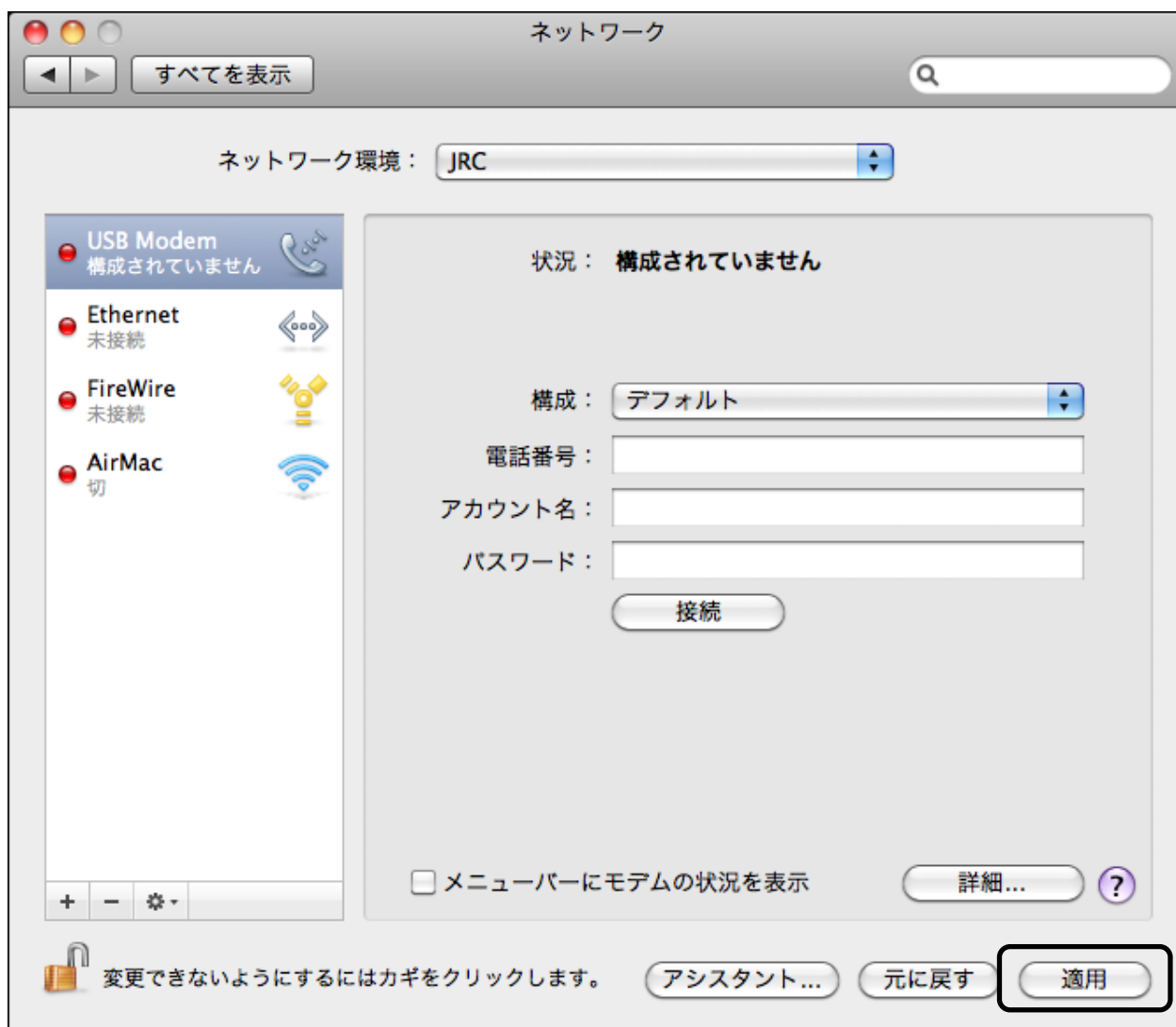
ダイヤルモード: 電話をかける前に発信音を確認

ダイヤル:  トーン  パルス

スピーカー:  入  切

? キャンセル OK

6. 「適用」をクリックします。尚、電話番号、アカウント名、パスワードの設定につきましては、ご利用になっているインターネットサービスプロバイダ(ISP)にお問い合わせください。



以上で、USB ドライバの設定(本電話機をモデムとして動かすための準備)は終了です。

## USB ドライバのインストール

本手順書では、MacOS X v10.6 を例に説明しております。

1. ダウンロードした「wx310j\_mdmst.sit」を解凍すると、以下のファイルが展開されます。

"JRC WX310J" モデムスクリプトファイル

ファイルの解凍には、Stuffit Expander が必要です。

2. デスクトップ上の「Macintosh HD」をダブルクリックします。

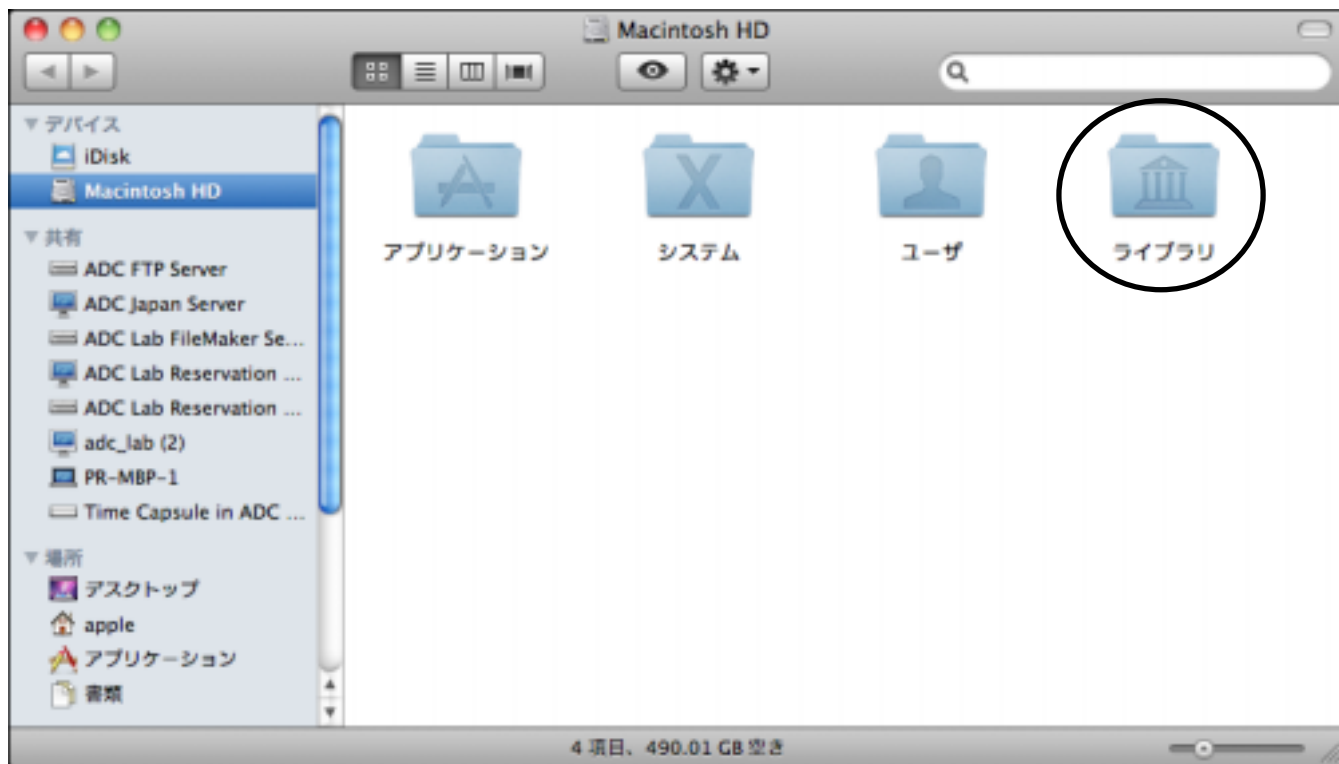


お使いの環境によっては、名前が異なる場合があります。

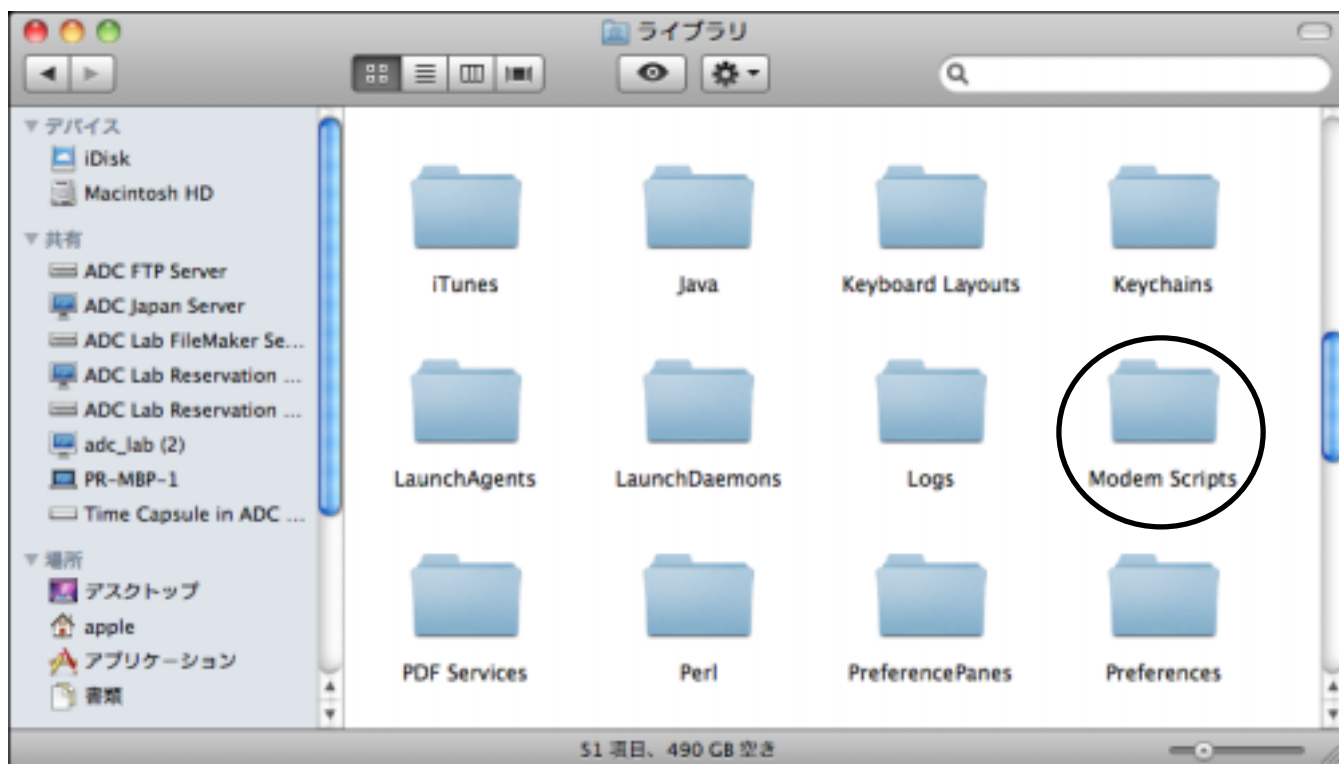
デスクトップ上に「Macintosh HD」が見当たらない場合は、画面左上の Finder メニューから「環境設定...」を選択し、Finder 環境設定で「ハードディスク」にチェックを入れてください。



3. 「ライブラリ」をダブルクリックします。



4. 手順1で解凍したモデムスクリプトファイル"JRC WX310J"を「Modem Scripts」フォルダへコピーします。



以上で、インストールは終了です。次ページの「**USB ドライバの設定方法**」に進んでください。  
尚、インストールが終了しましたら、パソコンを再起動してください。インストールしたモデムスクリプトファイルが正常に認識されない場合があります。



## USB ドライバの設定方法

本手順書では、MacOS X v10.6 を例に説明しております。

1. 本電話機とパソコンを USB 接続します。
2. 画面左上のアップルメニューから「システム環境設定」を選択します。



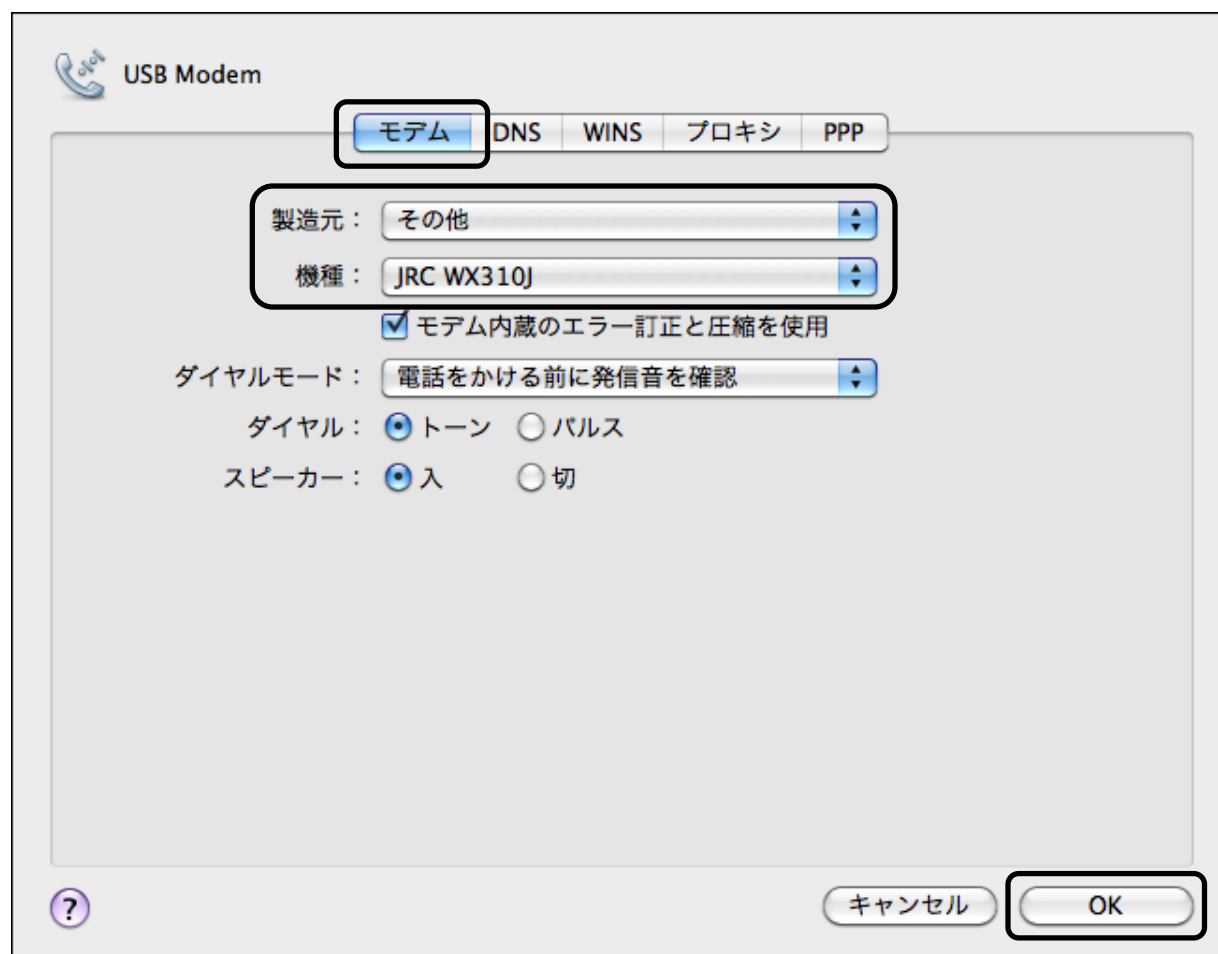
3. 「ネットワーク」をクリックします。



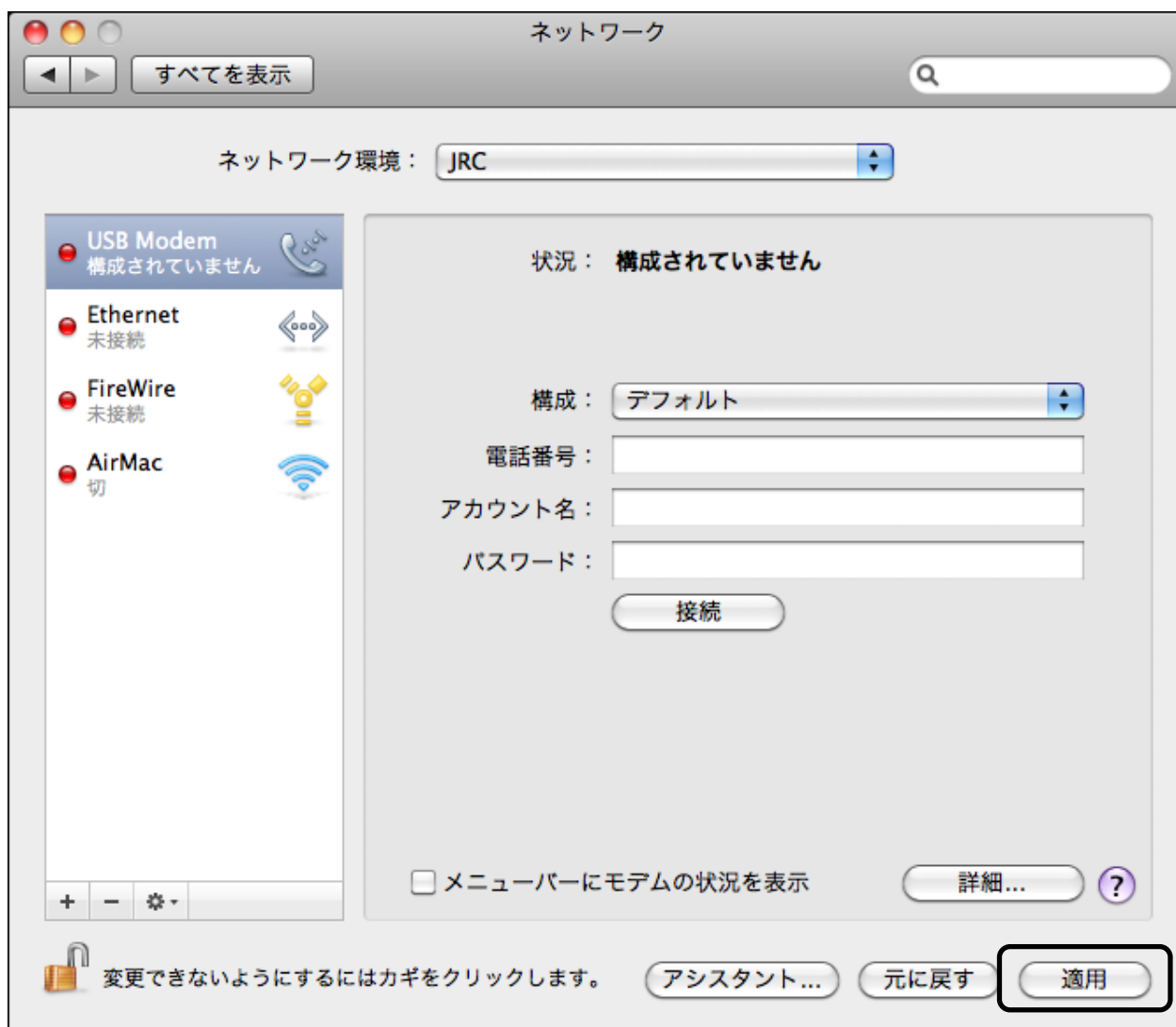
4. ネットワーク接続サービスのリストから「USB Modem」を選択し、「詳細」をクリックします。



5. 「モデム」タブをクリックし、[製造元:]プルダウンメニューから、「その他」、[機種:]プルダウンメニューから、「JRC WX310J」を選択し、「OK」をクリックします。尚、DNS、WINS、プロキシ、PPP の設定につきましては、ご利用になっているインターネットサービスプロバイダ (ISP) にお問い合わせください。



6. 「適用」をクリックします。尚、電話番号、アカウント名、パスワードの設定につきましては、ご利用になっているインターネットサービスプロバイダ(ISP)にお問い合わせください。



以上で、USB ドライバの設定(本電話機をモデムとして動かすための準備)は終了です。